

# 永井晴二郎

Seijiro Nagai Percussion Recital

パーカッション・リサイタル

## Program

エリオット・カーター 《4台のティンパニのための8つの小品》

Elliot Carter (1908-2012) : *Eight Pieces* (1949/1966) for four timpani [抜粋]

三善晃 組曲《会話》

Akira Miyoshi (1933-2013) : *Suite "Conversation"* (1962) for marimba [抜粋]

北爪道夫 《サイド・バイ・サイド》

Michio Kitazume (1948-) : *SIDE BY SIDE* (1989) for percussion solo

ヴィンコ・グロボカール 《影》 「音響」 中野宏紀

Vinko Globokar (1934) : *Ombre* (1989) for singer percussionist, zuspielband and drum machine

ニコラウス・A・フーバー 《クラッシュ・ミュージック》

Nicolaus A. Huber (1939-) : *Clash Music* (1988) solo for solo a pair of cymbals

武満徹 《雨の樹》 [助演] 多胡宏音 武曾海結

Toru Takemitsu (1930-1996) : *Rain Tree* (1981) for 3 percussionists

塚田優乃 《委嘱新作》 「音響」 中野宏紀

Masano Tsukada (2001) : *Commissioned work* (2026) for solo percussion and electronics

4.4 2026  
(土)

15:00 START  
14:30 OPEN

バロックザール  
Barocksaal  
青山音楽記念館

チケット 1.23 (金) 発売 全席自由

一般 ¥3,000 学生 ¥1,500 (税込・当日券各500円増)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※お客様用の駐車場はございません。

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

※学生券をご購入の方は、公演当日に学生証をお持ちください。

確認する場合がございます。

※やむを得ない事情により、内容に変更が生じる場合がございます  
が、助演者・曲目変更などのために払い戻しいたしませんので、  
予めご了承願います。

### プレイガイド

- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 318-405)
- 青山音楽記念館 075-393-0011 受付 9:30~18:00 (月・火 休館)
- webサイト <https://seijironagai.studio.site>  
→ 予約フォームにご記入いただき、当日精算・引き換えとなります。

お問い合わせ 06-6885-7582 seijironagai.project@gmail.com

後援 京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会

### 特設サイト

<https://seijironagai.studio.site/percussion-recital>  
プログラムへのごだわり等、随時更新しております。  
詳細や各プレイガイドへのアクセスはこちらのQRコードから。



# 永井晴二郎 Seijiro Nagai Percussion Recital

パーカッション・リサイタル

打楽器でリサイタルと聞いて、どのような演奏会になるのかをイメージできる方はあまり多くはないと思います。クラシックに馴染みがあっても、多くは打楽器に特化した楽曲は未経験なのではないでしょうか。

ティンパニやシンバルなど西洋音楽の世界では名脇役として古くより活躍してきた打楽器ですが、その長い歴史の中で常に発展、拡大し続けてきました。そして100年ほど前、その存在感を増した打楽器自身を主役として作品が作られるようになりました。

それは、世界各地の打楽器の発掘や改良、楽器の音域の拡張、作曲手法や特殊奏法の開拓、さらには電子音響との融合など、さまざまな挑戦の歴史もあります。

本公演ではまず、打楽器ソロのために作曲された初期の作品を取り上げ、そして表現手法が多様に広がった1980年代の作品を通して、その変遷をご紹介します。そしてこれらの軌跡のその先、打楽器音楽の未知なる可能性への挑戦作品として、塚田優乃氏に新作を委嘱しました。

永井晴二郎

## 永井晴二郎 Seijiro Nagai

打楽器奏者。カールスルーエ音楽大学大学院修士課程に在学中。ダムシュタット国際現代音楽夏期講習会に参加するなど現代音楽にも意欲的に取り組み、多くの新作初演プロジェクトへ参加している。室内楽奏者としてRuhrtriennaleをはじめ欧州の芸術祭や演奏会、レコーディングへ参加、出演。現在はオーケストラでの活動を主軸としており、マインツ州立劇場管弦楽団研修生、ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団アカデミー生として研鑽を積みながら、南西ドイツを中心に主要な放送響や歌劇場管弦楽団へも客演している。さらに打楽器奏者・多胡宏音と2024年に結成したデュオ「Duo Mujō」では編曲物を含む幅広いジャンルを扱うなど、その活動は多岐にわたる。

大阪市出身。6歳よりマリンバを始め、洛南中高にて打楽器全般へ拡大。京都市立芸術大学在学中、交換留学生としてフライブルク音楽大学へ派遣される。本国における現代音楽普及への学生の積極的な関与の必要性を感じ、「京都市立芸術大学 現代音楽研究会 club MoCo」を創立・主宰し、反響を呼んだ。

2023年3月京都市立芸術大学音楽学部音楽学科管打楽器専攻を首席で卒業、市長賞ならびに真声会賞を受賞。



2023年南カリフォルニア国際マリンバコンクール第1位、2020年第1回ボレンサ国際マリンバコンクール第2位他受賞歴多数。

2025年、東京文化会館、京都青山音楽記念館にてソロリサイタルを開催。

また、ドイツ・アルゼンチンでマスタークラスを行うなど活動は多岐にわたる。

打楽器初のヤマハ音楽支援奨学生。日本演奏連盟主催第30回新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズに最年少で合格し、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共に演。国立音楽大学を経て、カールスルーエ音楽大学大学院修士課程及び国家演奏家資格取得課程を最優秀の成績で修了。パリ国立高等音楽院、並びにリヨン国立高等音楽院でも学ぶ。

多胡宏音

Hirono Tago

福井県勝山市生まれ坂井市出身。京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻を2026年3月修了予定。第7回東京国際マリンバコンクール第3位および現代音楽特別賞、第34・35回日本クラシック音楽コンクール第4位など受賞多数。国内外のマスタークラスに参加し研鑽を積む。福井県出身音大生によるアンサンブルグループ

「ただいま福井プロジェクト」を主宰。

関西・福井を拠点にマリンバ奏者として活動している。

Barocksaal  
京都青山音楽記念館

お問い合わせ  
tel. 075-393-0011  
9:30~18:00 月・火 休館  
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1  
<https://barocksaal.com/>



委嘱  
commission  
作曲家

塚田優乃  
Masano Tsukada

テクノロジーと器楽の関係性を探る研究を軸に、音響効果を活かしたサウンドの“面白さ”や“ときめき”を作品を通して届けることをテーマに創作を行う。

2020年 京都市立京都堀川音楽高等学校 作曲専攻 卒業

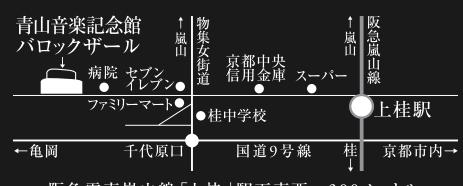
2024年 京都市立芸術大学 音楽学部 作曲専攻 卒業

卒業時、「京都音楽協会賞」受賞

2024年~現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻在籍。2025年10月より交換留学生としてフライブルク音楽大学に留学。

2025年度 京都ロータリークラブ奨学生

クマ財団クリエイター奨学金9期生



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル  
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。